

掛川市多死社会のまちづくりを考える会議
会長 須藤 智 様

掛川市長 久保田 崇

諮 問

掛川市では、少子高齢化により平成 22 年をピークに徐々に人口が減りはじめ、令和 3 年以前は 1,200 人前後で推移していた死亡者数が、令和 4 年には 1,400 人を超えました。

また、令和 5 年 12 月に国立社会保障・人口問題研究所が発表した人口推計では、掛川市の 65 歳以上の人口のピークが 2045 年ごろと予想されております。

このような、団塊の世代の高齢化による本格的な多死社会の到来に対して事前に対処し、人口が減少しても市民が安心して生活し続けられるまちづくりが必要となっております。

つきましては、貴会議に次の事項について意見を求めます。

記

- (1) 多死社会の到来に向けた課題及びその対応について